

ふれあいネットワーク

社会福祉協議会だより 夢ふうせん

今回の情報紙は共同募金の配分金で発行しています

第106号

2014年12月

社会福祉法人
下市町社会福祉協議会
下市町ボランティアセンター
下市町大字善城 140 番地 1
TEL 52-6125

赤い羽根共同募金に ご協力ありがとうございました



下市中学校の生徒会が募金活動で集まった募金を
下市町共同募金委員会に届けてくれました

10月1日から全国で実施されている赤い羽根共同募金運動は、町内各戸、各職域事業所等にご協力いただきました。
また、町内小学校の児童会、中学校生徒会も募金活動にご協力下さり、集められた募金を児童、生徒の代表がそれぞれ下市町共同募金委員会にお届け下さいました。
なお、詳しい報告につきましては、現在ご協力頂いている歳末たすけあい募金と併せて次回「夢ふうせん」でご報告させて頂きます。
ありがとうございました。



しつけとは「親が愛情を伝える方法」
良い影響を与えるしつけの仕方を学びます。

大人が変わることで、子どもも変わる。受講された皆さんも家に持ち帰って実践し体験されています。後期講座は3月に開催し、詳しい内容は、講座終了後報告します。

10月10日17日24日の3日「コモンセンスペアレンティング」講座に子育て中のお母さん4名が、参加しました。コモンセンスペアレンティングとは、子どもと大人（ここでは親）の関係をより良くするために、子ども側に立った視点でのコミュニケーションの取り方や子どもの行動に対して、どのような事に注意して向き合えば良いかを学び、ロールプレイをして身につけていく講座です。

コモンセンスペアレンティング
前期 講座開催

ふれあい広場 ごんたくんの家

11月15日(土)開催!



ふれあい広場は

交流センター(ごんたくんの家)を周知するとともに、町民の皆さんの幅広い交流の場、憩いの場となるよう、世代間交流の場を提供し、ふれあうことを目的として開催しています。

子育て支援スタッフによる手作りのジャンボかるた大会では、子ども達の白熱な戦いが繰り広げられ、低学年、高学年それぞれの優勝者に賞品がおくられました。

また、大声大会では、小学一年生の山本さんが優勝しました。高齢者の人達と一緒に遊ぶ昔遊や将棋・学生ボランティアによるプレート作り、「くるみさん」のおしゃれなクリスマスリース作り等、盛りだくさんの内容で参加者の皆さんは楽しまれました。

11月15日、町交流センター(ごんたくんの家)において、第5回ふれあい広場が開催されました。この日は、よい天気にも恵まれ、子どもから高齢者まで約150名の参加があり、玄関前では、あきつボランティアによる美味しい豚汁とあゆみ農園北谷さんによるピザがふるまわれ、参加されたみなさんを温かく出迎えてくれました。



「今日は楽しんで下さい」と枚本町長



大声大会「ごんたくーん」 優勝者は小学一年生



下市町社会福祉協議会では、交流センターを町民の皆さんの幅広い交流の場となるよう、今後もこのようなイベントを開催していきたいと思っています。

ホールの舞台では、下市おはなしの会によるお話や、下市中学コーラス部OGの皆さんによるコーラスは、交流ホールいっぱいになり、美しいハーモニーを響かせてくれました。参加された皆さんと共に「もみじ」「ふるさと」を大合唱しました。

また、町内有志の方達が持ち寄られたバザーのコーナーでの売上金2万8千489円は『歳末たすけあい募金』として寄付させて頂きました。ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。



あったかい豚汁としいたけピザは大人にも子どもにも大人気!



子どもと一緒に将棋を楽しむ枚本町長



親子で楽しいフレート作り



下市おはなしの会「おだんごころころ」紙芝居



美しいハーモニーを披露してくれたOGの皆さん



ごんたくんカルタ白熱戦



下市町共同募金委員会のバザーは大盛況！



抽選会ではごんたくん人形プレゼント



「ふるさと」を手話を交えて大合唱

高齢者ふれあい いきいきサロン連絡会開催

11月6日、下市町交流センター（ごんたくんの家）において、町社会福祉協議会主催の「高齢者ふれあいいきいきサロン」連絡会が開催されました。

この日は、地域でサロンを開催している代表の方達が集い、「それぞれのサロンでの自慢できるところ」や、「サロンを長く続けていく方法」・「ネタ切れにならないためには」等多くの意見が、出され、

世代を問わず、協力してくれる人を巻き込み、お世話をする人もされる人も気軽に参加でき、お話しやお茶だけのサロンもOK。

人数が減少しているサロンは隣接している地域と合同のサロンを計画してみても等々活発な意見交換会ができました。

その後、阿知賀サロン代表の川北麗子さんに、模擬サロンをして頂き、災害等に役立つ毛布を使った防寒着や風呂敷を使ったリュックの作り方又手足を使った簡単な遊びも教えて頂き、参加者の皆さんは「早速次回のサロンに取り入れます」と話されていました。

町社会福祉協議会では、サロン連絡会を通して、今回のようにサロン間の実践交流など、みんなが

抱えている問題を共有し地域のサロン活動が効果的、継続的に運営できるようサロンを支援させて頂きたいと考えています。



赤い羽根共同募金地域福祉配分金事業



下市中学校一年生

高齢者体験学習開催

11月5日、下市中学校一年生が施設訪問を前に高齢者や障害を持つ人・介護を必要とする人への理解を深めることを目的に学習会を開催しました。

地域包括支援センター松田保健師による高齢者との接し方を学んだあと、そよ風荘作業療法士上西弘剛氏より、車椅子・アイマスク体験について説明を受け、実際グループに分かれ体験しました。



右手はおいでおいで 左手はバイバイ できるかなあ

家庭看護法講習会



11月8日、在宅介護を考える集い&ヘルパー研修会を開催しました。

この日は、日赤奈良県支部、東定子さんを講師にお迎えし、「ベッドでの寝巻の着替え・おむつ交換・洗髪の仕方」「車椅子への移乗の仕方」等少しでも介護者の負担を減らす方法を学びました。「基本的な事を学び、それぞれの家庭でのやり方、介護者の状況を配慮し、一番やり易い方法で行なって下さい。」「介護する側のストレスを上手に発散しながら、ヘルパーや介護支援専門員の助言を受け、無理のない介護をして下さい。」と話されていました。